

芦屋市における過去5年間の交通事故発生状況(平成24年～平成28年)
と平成28年の交通事故発生状況検証

時間別事故発生状況(件)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
0時～2時	3	5	11	4	9
2時～4時	3	1	4	1	4
4時～6時	3	4	7	7	1
6時～8時	31	26	30	30	26
8時～10時	45	51	40	55	53
10時～12時	47	42	39	27	38
12時～14時	31	40	43	31	39
14時～16時	35	28	42	42	35
16時～18時	47	73	64	56	54
18時～20時	35	42	44	35	34
20時～22時	22	25	21	18	16
22時～24時	13	15	11	13	13
計	315	352	356	319	322

①芦屋市内で発生した事故の主な時間帯は通勤・通学の時間帯である8時～10時、退勤・下校の時間帯である16時～18時が特に多い。交通事故件数はほぼ横ばいである。

高齢者の安全確保

高齢者関係事故（65歳以上）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内交通事故件数（件）	315	352	356	319	322
高齢者事故件数（件/年）	97	89	103	111	116
第1当事者事故件数（件/年）	64	60	65	68	67
第1当事者事故件数割合（％）	66.0%	67.4%	63.1%	61.3%	57.8%
死者（人）	1	1	1	0	1
傷者（人）	58	52	54	63	71
傷者（第1当事者）（人）	8	7	11	8	*
傷者（第2当事者）（人）	40	34	37	47	*
高齢者人口（人）	23,242	24,387	25,475	26,087	26,749
高齢者人口に占める事故件数割合（％）	0.42%	0.36%	0.40%	0.43%	0.43%
高齢者人口に占める傷者割合（％）	0.25%	0.21%	0.21%	0.24%	0.27%

* 交通年鑑データが発表されていないため空欄

②平成27年に達成した「交通事故死者数0人」であったが、平成28年に高齢者の交通事故死者数1人となった。

高齢者事故件数が平成25年から増加しており傷者も増加している。高齢者人口も年々増加しているため、高齢者人口に占める事故件数はほぼ横ばいである。市内交通事故件数の約3分の1が高齢者関係事故である。

高齢者に対する交通安全教育実施回数・参加者数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
実施回数（回）	4	2	1	1	1
参加者（人）	109	36	33	22	23

③参加者が固定化しており、平成26年以降は年1回の開催となっている。高齢者事故件数が増加していることから、今後、高齢者への交通安全教育を充実させる必要があると思われる。

子どもの安全確保

子ども関係事故（15歳以下）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内交通事故件数（件）	315	352	356	319	322
事故件数（件/年）	15	25	23	15	21
事故全体に占める 子ども事故件数の割合（％）	4.8%	7.1%	6.5%	4.7%	6.5%
第1当事者事故件数（件/年）	3	7	6	4	6
子ども事故件数に占める 第1当事者事故件数割合（％）	20.0%	28.0%	26.1%	26.7%	28.6%
死者（人）	0	0	0	0	0
傷者（人）	35	34	30	20	30
傷者（第1当事者）（人）	2	7	6	3	*
傷者（第2当事者）（人）	12	18	17	9	*
子ども人口（人）	13,853	13,873	13,811	13,660	12,468
子ども人口に占める事故件数割合（％）	0.11%	0.18%	0.17%	0.11%	0.17%
子ども人口に占める傷者割合（％）	0.25%	0.25%	0.22%	0.15%	0.24%

* 交通年鑑データが発表されていないため空欄

④子ども人口が年々減少しているものの、子ども人口に占める事故件数割合、市内交通事故全体に占める子ども事故の割合は減少していない。

子どもを対象とした交通安全教室の推進

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼稚園（回）	20	20	20	18	15
保育所・園（回）	18	17	19	23	27
小学校（回）	16	16	16	14	16
中学校（回）	0	0	4	5	3
特別支援学校（回）	1	2	2	2	1
高等学校（回）	0	0	0	0	0
計	55	55	61	62	62

⑤幼稚園、保育所・園、小学校対象の交通安全教室は年間を通じて実施しているが、高等学校の交通安全教室が実施されていない。自分が加害者になる可能性がある世代（中学校以上）対象の交通安全教室の推進が必要と思われる。

歩行者の安全確保

歩行者関係事故

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内交通事故件数（件）	315	352	356	319	322
歩行者関係事故件数 （件/年）	39	38	51	40	62
事故全体に占める 歩行者の関係する事故の割合（％）	12.4%	10.8%	14.3%	12.5%	19.3%
死者（人）	0	1	3	0	1
傷者（人）	43	37	50	41	62
傷者（第1当事者）（人）	1	3	3	4	0
傷者（第2当事者）（人）	38	33	46	-	62

自転車と歩行者の交通事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
事故件数（件/年）	2	4	1	5	14

ゾーン30実施エリアにおける事故件数（速度違反が要因の事故）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
事故件数（件/年）	0	0	0	0	0

⑥歩行者関係事故件数が平成27年に比べて平成28年は増加している。特に自転車と歩行者の交通事故件数の増加が目立つ。

自転車の安全確保

自転車の関係した事故

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内交通事故件数（件）	315	352	356	319	322
関係事故件数（件/年）	90	117	87	87	103
構成率（％）	28.6%	33.2%	24.4%	27.3%	32.0%
人对自転車（件）	2	4	1	5	14
自転車対車両（件）	84	107	83	80	87
自転車単独（件）	4	6	3	2	2
1当事故件数（件/年）	20	28	27	21	42
（乗用中）死者（人）	0	0	0	0	0
（乗用中）傷者（人）	88	114	89	87	89
（乗用中）計（人）	88	114	89	87	89

第1当事者（自転車）事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
第1当事者事故件数（件/年）	20	28	27	21	42

第1当事者事故件数（違反別で主なもの）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
通行区分（件）	1	1	2	2	0
一時不停止（件）	7	1	5	2	8
信号無視（件）	2	3	4	3	4

⑦市内交通事故件数のうち、自転車関係事故が約3割を占めている。平成26年から横ばいであったが、平成28年は事故件数が増加している。第1当事者事故件数は平成27年に比べ2倍に増加している。

自転車教室参加人数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加者（人）	37	41	21	39	21

自転車交通安全教室実施状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校（回）	8	8	8	8	8
中学校（回）	0	0	4	5	3
高等学校（回）	0	0	0	0	0
計	8	8	12	13	11

⑧小・中学校での自転車交通安全教室は定期的に開催されているが、自分が加害者になる可能性がある世代（中学校以上）対象の交通安全教室の推進が必要と思われる。

生活道路における安全確保

生活道路における交通事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内交通事故件数（件）	315	352	356	319	322
生活道路における事故件数（件）	179	212	213	191	198
事故全体に占める生活道路事故件数の割合（％）	56.8%	60.2%	59.8%	59.9%	61.5%

防護柵を設置した場所の事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
事故件数（件/年）	0	0	0	0	0

⑨防護柵を設置した場所の事故は発生していないが、平成28年は生活道路における事故件数が平成27年に比べ増加している。事故全体に占める生活道路における事故の割合は約6割である。

幹線道路における安全確保

主要幹線道路における交通事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
山手幹線（件）	33	27	30	30	21
国道2号線（件）	54	60	59	57	44
国道43号線（件）	49	53	54	41	59
合計（件）	136	140	143	128	124
事故全体に占める割合（％）	43.2%	39.8%	40.2%	40.1%	38.5%

主要幹線道路交差点付近事故件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
山手幹線（件）	6	5	11	4	8
国道2号線（件）	24	24	27	34	18
国道43号線（件）	13	18	22	14	26
合計	43	47	60	52	52
事故全体に占める交差点付近の事故割合（％）	13.7%	13.4%	16.9%	16.3%	16.1%
主要幹線道路事故における交差点付近事故の占める割合（％）	31.6%	33.6%	42.0%	40.6%	41.9%

⑩全体として主要幹線道路における交通事故件数が減少している中で、国道43号線における交通事故件数は横ばいとなっている。事故全体に占める主要幹線道路における事故の割合は約4割である。主要幹線道路においては交差点付近における事故の割合が高い。

重視する視点に特化しない包括的な安全確保

交通事故に対する救急出場件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
救急出場（件）	320	280	324	277	280

応急手当講習等受講人員

対象\年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
普通救命講習Ⅰ （一般市民, 学校・園）（人）	477	631	475	391	403
普通救命講習Ⅱ（トライやるウィーク生徒, 保育園・幼稚園職員）（人）	74	113	58	45	82
上級救命講習（一般市民）（人）	21	9	6	11	12
応急手当講習（一般市民, 学校・園）（人）	1, 559	1, 535	1, 804	1, 337	1, 625
応急手当普及員講習（消防団員）（人）	5	7	—	9	—
応急手当普及員再講習（消防団員）（人）	27	48	—	35	3
合 計（人）	2, 163	2, 343	2, 343	1, 828	2, 126

踏切道における交通事故死傷者

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
事故件数（件）	0	0	0	1	0
死者（人）	0	0	0	0	0
傷者（人）	0	0	0	1	0